

KAWAJUN 自動水栓 HA017XC(E1700KJ) 取扱説明書1

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意1

●ここに示した 警告 は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。	●ここに示した 注意 は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です	この絵表示は、「分解禁止」の内容です
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

 警告 がたついているコンセントは使わないでください。 電源ケーブル・電源プラグを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加熱したりするなどすることはしないでください。 電源ケーブル・電源プラグを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加熱したりするなどすることはしないでください。 電源ケーブル・電源プラグを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加熱したりするなどすることはしないでください。 加工および接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。 器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。	 電磁弁ユニットや電源プラグには水をかけないでください。 コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。 たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 指定する電源(AC100V)以外では使用しないでください。 電源ケーブルの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。 火災の原因になります。
 注意 小さいお子様だけの使用は避けなさい。 配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水管含む)には絶対に通電しないでください。 通電すると水栓や給水管が発熱し、破裂して家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。	 器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。 器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

1 ページ

安全上のご注意2

 注意 センサー面を傷つけないようにしてください。 器具が破損するおそれがあります。	 使用するときは、本体の吐水部をふさがないでください。 吐水部から水が漏れ出し、漏水により家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。	 トイレ用洗剤・住宅用洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・トイレ用ウェットティッシュ・クレンザー・クレゾールを使用しないでください。 発火・ショート・感電・故障の原因になります。
 屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。 器具が破損して、漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。	 ストレーナーの清掃は止水栓で必ず水を止めてから行ってください。 長時間使用しない場合は、電源を抜いてください。	 電源コード長さ 1.9m 吐水量 3L/分 (3L/分定流量弁内蔵) 感知距離 学習方式による感知距離変化型 (セットアップされた陶器により、自動で感知距離を設定します)

漏水をした場合の処置

漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプを使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

カワジュン株式会社

本社／〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-15-1
TEL. 03(3669)2801代表

東京店 名古屋店 大阪店 福岡店 仙台店 札幌店

●修理のご依頼は、取扱店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

0120-474-161 ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください
修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
水栓に貼ってある品番シールでご確認ください
技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
部品代…修理に使用した部品代
出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

●商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。
製造元 株式会社 KVK 本社・工場／〒501-1195岐阜市黒野308
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

3 ページ

 警告 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。 器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。	 警告 分解したり、修理・改造はしないでください。 火災や感電の原因になります。	 警告 濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。
 警告 雷が発生しているときは、電源ケーブルに触れないでください。 浴室などの湿気の多い場所には設置しないでください。	 警告 浴室などの湿気の多い場所には設置しないでください。 火災や感電の原因になります。	 警告 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜いてください。 電源プラグを引っぱるとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。
 注意 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。 火災や感電の原因になります。	 注意 器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。 器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。	 注意 めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。 めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

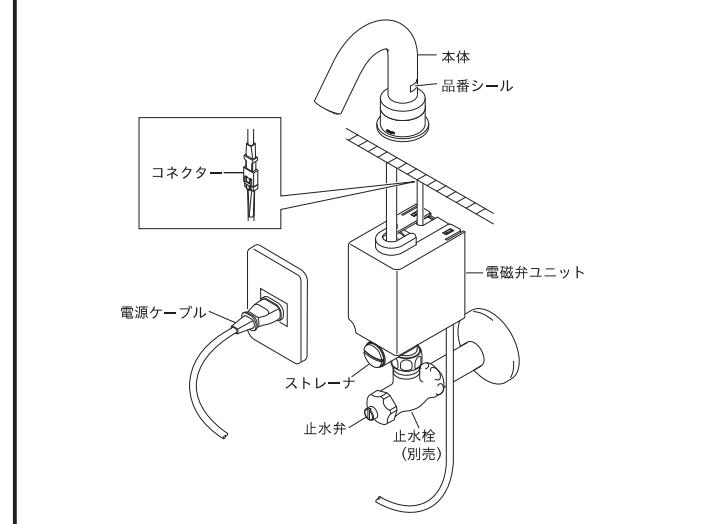
2 ページ

ご使用の前に

仕様

使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時 0.2W以下 使用時 5.5W以下
使用流体	1~40°Cの上水道水 (氷結、ゴミ等の混入が無い事)
使用環境	温度 1~40°C 湿度 90%以下
給水圧力	最低必要水圧 : 0.05MPa (動水圧) 最高水圧 : 0.75MPa (静水圧)
電源コード長さ	1.9m
吐水量	3L/分 (3L/分定流量弁内蔵)
感知距離	学習方式による感知距離変化型 (セットアップされた陶器により、自動で感知距離を設定します)

各部の名称



4 ページ

ご使用方法

自動吐止水方法

本体のセンサー部に手を近づけると、自動的に吐水します。

手を離すと止水します。

約60秒連続して感知すると自動的に止水します。

再び吐水させたい時は、一度手を離して再度近づけてください。

【お願い】センサーの前に障害物を置かないでください。

誤作動の原因になります。



【ご使用時のお願い】

● 使用するときは、本体の吐水部をふさがないでください。

吐水部から水が侵入し、漏水により家財などを濡らす

財産損害発生のおそれがあります。

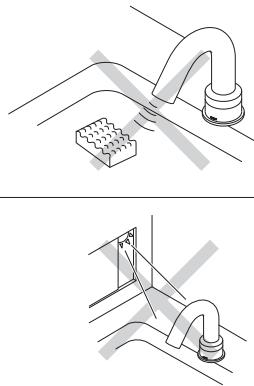


● センサー感知距離内に傷害物が入らないようにしてください。

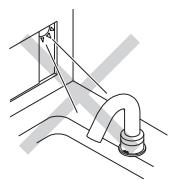
誤作動の原因になります。

また、インバーターや赤外線を用いた他の機器により

誤作動することがあります。



● 直射日光が当たらないところに設置してください。



5 ページ

日常のお手入れ・保守1

お手入れ方法

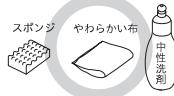
布やスポンジを使用したお手入れ方法

【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取りながら、乾いた布でから拭きします。



【使ってはいけないもの】

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塗素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

センサーのお手入れ方法

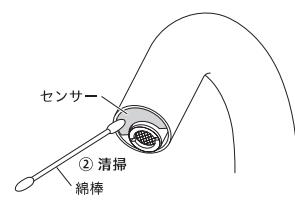
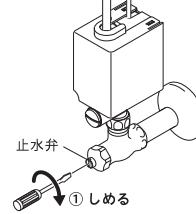
センサーの表面に水アカなどが付着すると感知しにくくなりますので、半年に1回程度、定期的に清掃してください。

①止水弁を締めます。

②水またはぬるま湯に浸した綿棒で汚れを拭き取ります。

ひどい汚れの場合は、中性洗剤をぬるま湯でうすめたものを綿棒に浸し汚れを拭き取った後、水拭きしてください。

【お願い】センサーの表面に傷をつけないようにお手入れをしてください。



【使ってはいけないもの】
たわし・歯ブラシ等はセンサー表面にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



6 ページ

日常のお手入れ・保守2

ストレーナの清掃方法

ストレーナユニットのストレーナ

ストレーナユニットのストレーナにゴミがつまると、吐水量が減る場合がありますので、定期的に清掃してください。

【△注意】ストレーナの清掃は、止水弁で必ず止水してから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

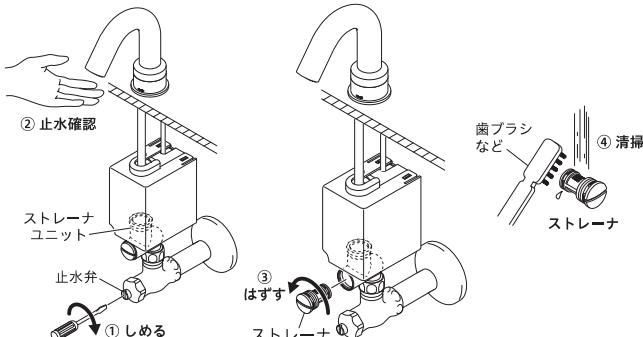
①止水弁をしっかりと締めます。

②手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。

③ストレーナを反時計回りに回し、取りはずします。

④ゴミ・水アカ等を洗い流します。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



吐水口金具のストレーナ

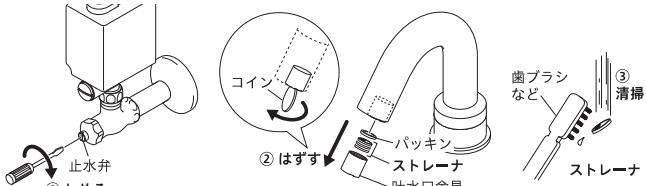
吐水口金具のストレーナにゴミがつまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので定期的に清掃してください。

①止水弁をしっかりと締めます。

②吐水口金具をコイン等を利用して、反時計回りに回してストレーナを取りはずします。

③ゴミ・水アカ等を洗い流します。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



流量が不足している場合の調整方法1

本製品は、電磁弁ユニット内部に定流量弁を内蔵していますので、基本的に流量調節は不要です。ただし、圧力が低い場合や電気温水器との組み合わせにより流量が不足する場合は、定流量弁をはずして流量調節を行ってください。

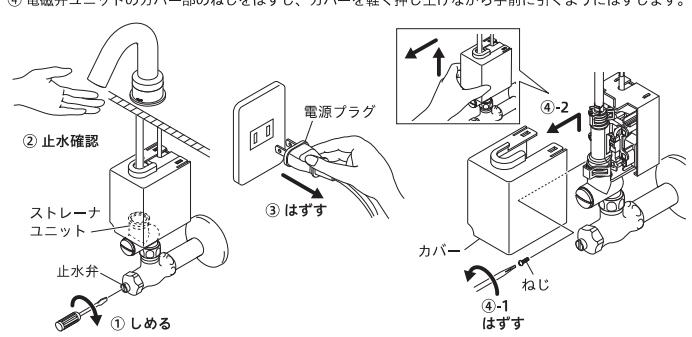
①止水弁をしっかりと締めます。

②手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。

③コンセントを抜きます。

【△注意】濡れた手でコンセントを抜かないでください。感電のおそれがあります。

④電磁弁ユニットのカバー部のねじをはずし、カバーを軽く押し上げながら手前引くようにはずします。



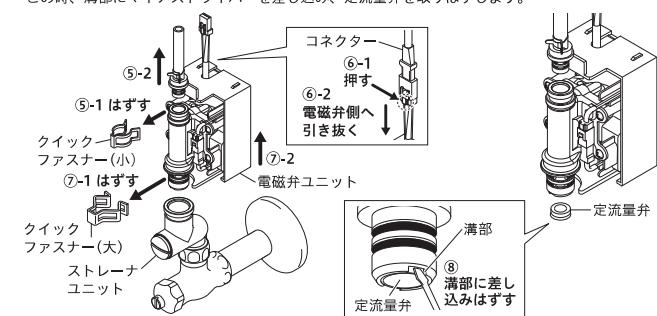
⑤クイックファスナー(小)をはずし、給水ホースをプラグごと上にはします。

⑥コネクターをはずします。

⑦クイックファスナー(大)をはずし、ストレーナユニットから電磁弁ユニットをはずします。

⑧電磁弁ユニットに組み込まれている定流量弁をはずします。

この時、溝部にマイナスドライバーを差し込み、定流量弁を取りはずします。



7 ページ

8 ページ

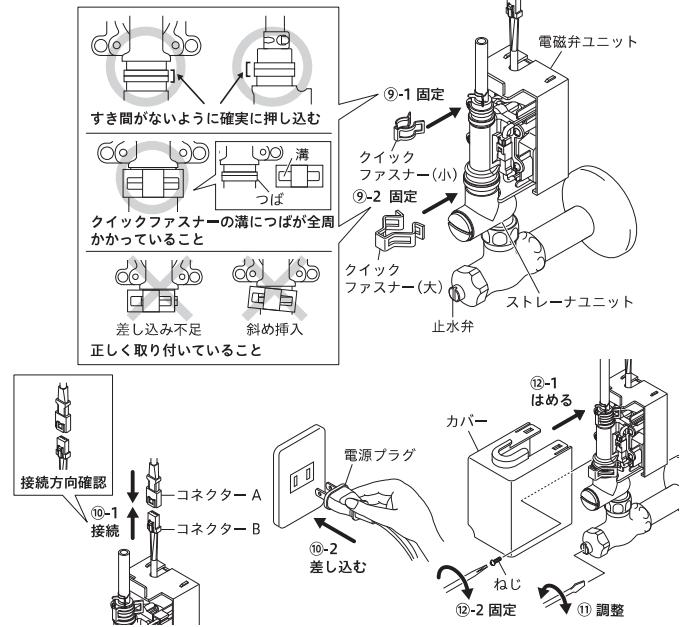
404347-01

取扱説明書2

日常のお手入れ・保守3

流量が不足している場合の調整方法2

- ⑨ 電磁弁ユニットとプラグをクイックファスナー(小)で固定します。
電磁弁ユニットとストレーナユニットをクイックファスナー(大)で固定します。
- 【△注意】クイックファスナーの接続は、以下の内容に注意してください。
しっかりはまっていると、漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。
※すき間がないよう、確実に押し込む
※クイックファスナーの溝につばが全周かかっていること
※クイックファスナー取り付け後は、正しく取り付いていることを目視や鏡を使い確認する
- ⑩ コネクターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
【お願い】電源が入ると直ちに感知距離を自動で設定します。センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約10秒での動作は完了します。)
- ⑪ 止水栓で流量を調整します。
⑫ カバーをはめ、ねじで固定します。



9ページ

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

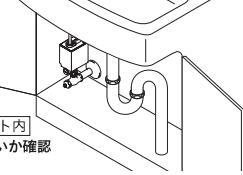
センサーの感知 (1週間に1~2回程度)

使い始め当初より感知距離が短くなってきたら、センサーの表面が汚れている可能性があります。
センサーの表面のお手入れを行ってください。
(「お手入れ方法」参照)



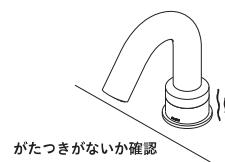
配管まわりの水漏れ (1か月に1回程度)

【△注意】
配管まわり(キャビネット内)の水漏れないか確認してください。部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを漏らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。

[キャビネット内]
水漏れないか確認

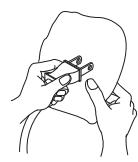
水栓取り付け部のがたつき (1か月に1回程度)

【△注意】
水栓取り付け部にがたつきがないか確認してください。がたついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



電源プラグの掃除 (1か月に1回程度)

【△注意】
電源プラグについたほこりを取り除いてください。
電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になりますので、電源プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。



10ページ

定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検											
消耗部品の交換(シャワーホース・パッキン等) [有料]											
モールド部品の交換 [有料]											
部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。 ・摩耗劣化部品の例(水栓の種類によって異なります) 例) カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等											
【△注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換を行ってください。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。 (逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください) 部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。											
補修用部品の供給期間 この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。											

製品の保証期間は1ヶ年です。同梱の保証書をご確認ください。

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。			
現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
水が出ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	施工説明書8ページ 「通水確認」
	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る	6ページ 「お手入れ方法」
	センサーの前に障害物がありますか	障害物を取り除く	5ページ 「自動吐止水方法」
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを差し込む	施工説明書7ページ 「電源プラグの差し込み」
	コネクターは確実に接続されていますか	コネクターを確実に接続する	施工説明書7ページ 「コネクターの取り付け」
	停電中または断水ではありませんか	回復するまで待つ	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	7ページ 「ストレーナの清掃方法」
吐水量が少ない	センサーランプが点滅していませんか	電源プラグを抜いて、再接続する	施工説明書7ページ 「電源プラグの差し込み」
	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	施工説明書8ページ 「通水確認」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	7ページ 「ストレーナの清掃方法」
	給水ホースは折れ曲がっていますか	折れ曲がらないように調整する	施工説明書6ページ 「給水ホースの接続」
吐水が飛び散る	吐水量が不足していませんか	定流量弁をはずし、止水弁で流量を調節する	8・9ページ 「流量の調整方法」
	吐水口金具のストレーナにゴミ等がつまっていますか	吐水口金具のストレーナを清掃する	7ページ 「ストレーナの清掃方法」
	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る	6ページ 「お手入れ方法」
	センサーの前に障害物がありますか	障害物を取り除く	5ページ 「自動吐止水方法」
水が止まらない	センサーランプが点滅していませんか	電源プラグを抜いて、再接続する	施工説明書7ページ 「電源プラグの差し込み」
	万一千、上記の箇所を調べてみても水が止まらない場合は、止水栓を閉めてください。		

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

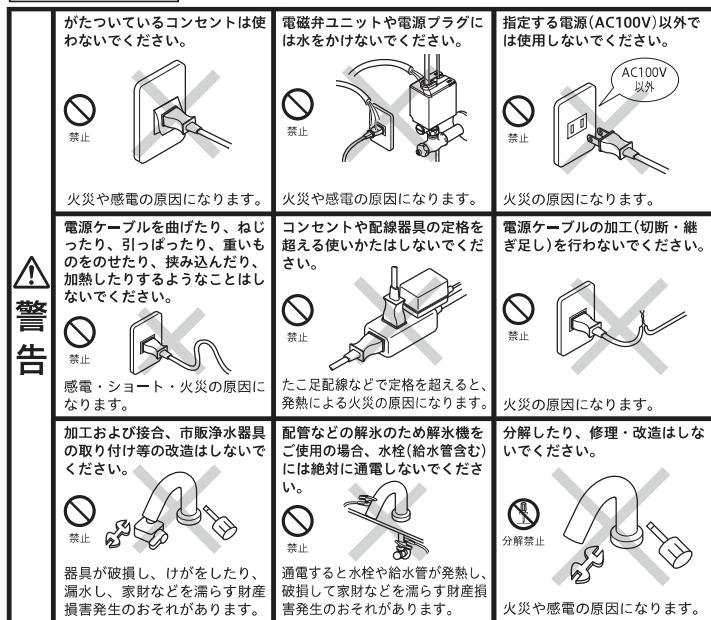
【△注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

KAWAJUN 自動水栓 HA017XC(E1700KJ) 施工説明書1

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した **△警告** は誤った取り扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **△注意** は誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 - お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- | | | | |
|------------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|
| この絵表示は、
「しない」禁止の内容です | この絵表示は、
「分解禁止」の内容です | この絵表示は、
「接触禁止」の内容です | この絵表示は、
「水場使用禁止」の内容です |
| この絵表示は、必ず実行して
いただく強制の内容です | | | |



1 ページ



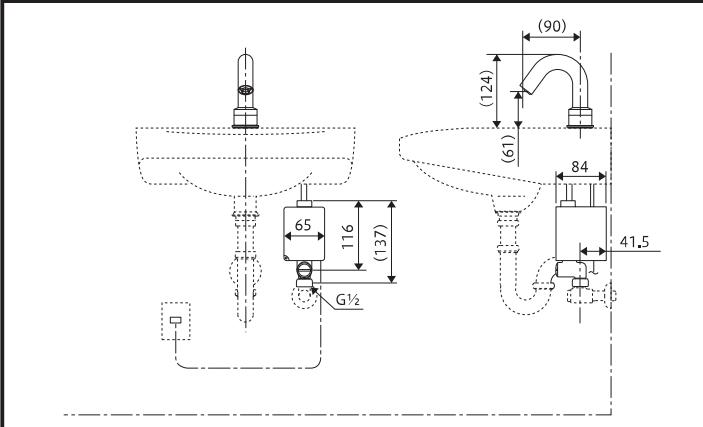
2 ページ

取り付け前に

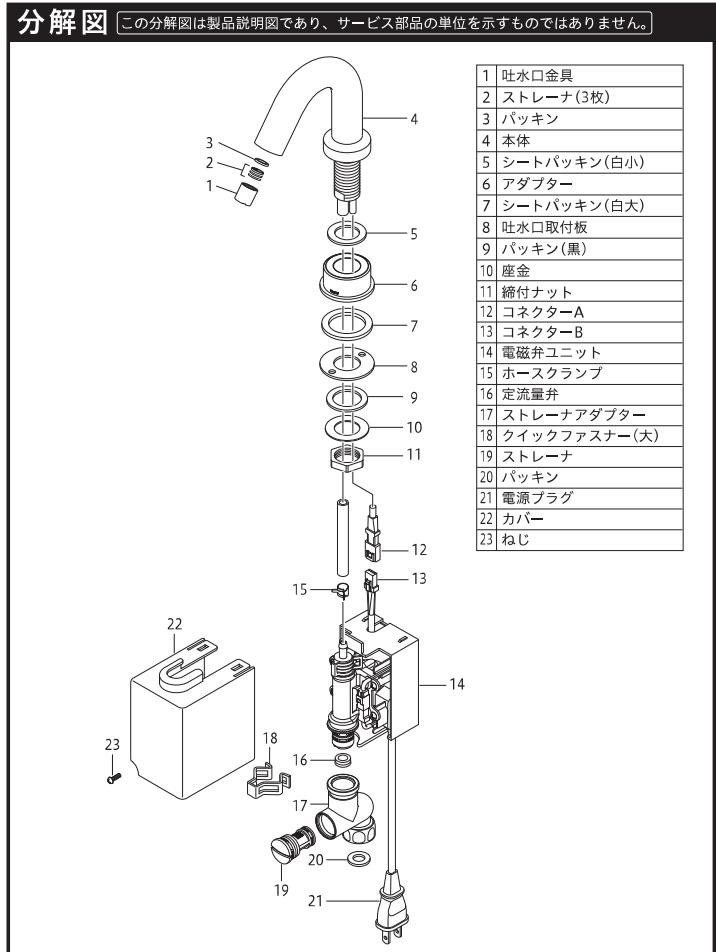
使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時 0.2W以下 使用時 5.5W以下
使用流体	1~40°Cの上水道水 (氷結、ゴミ等の混入が無い事)
使用環境	温度 1~40°C 湿度 90%以下
給水圧力	最低必要水圧 : 0.05MPa (動水圧) 最高水圧 : 0.75MPa (静水圧)
電源コード長さ	1.9m
吐水量	3L/分定流量弁内蔵
感知距離	学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)

①給水圧力が0.75MPaを越えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
②本製品は改造、加工および接合、市販浄水器具の取り付け等によるトラブルについては保証の限りではありません。
③通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
④センサーの表面を傷つけないように十分注意してください。
⑤インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
⑥直射日光が当たらないところに設置してください。

寸法図（施工例）



3 ページ



4 ページ

取り付け手順 1

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず配管内の異物を完全に洗い流してください。

2 止水栓(別売:HN-01・HN-02・HN-03)の取り付け

配管に止水栓を取り付けます。

ニップルにシールテープを巻き、固定してください。

必ず、接続部が上になるように固定してください。

*止水栓に付属のヘリューズ管およびパッキンは使用しません。



3 本体の取り付け

① 本体より、締付ナット・座金・パッキン(黒)・吐水口取付板をはずします。

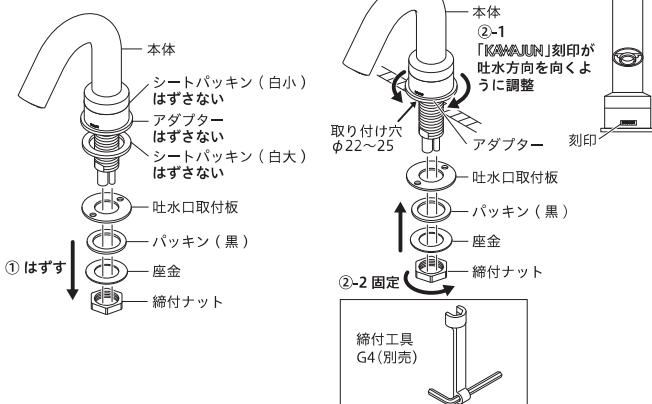
このとき、シートパッキン(白小)・アダプター・シートパッキン(白大)ははずしません。

② 取り付け穴周囲の汚れを取り除いた後、本体とアダプターを差しこみ、アダプターにある刻印が吐水方向を向くように調整を行ってから、吐水口取付板・パッキン(黒)・座金・締付ナットの順に取り付け完全に固定します。

[お願い] 本体の取り付けは、ボウルを設置する前に実行してください。

[△注意] 締付ナットの締め付けは、締付工具G4(別売)で確実に行ってください。

しっかりと締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。



5 ページ

4 電磁弁ユニットの取り付け

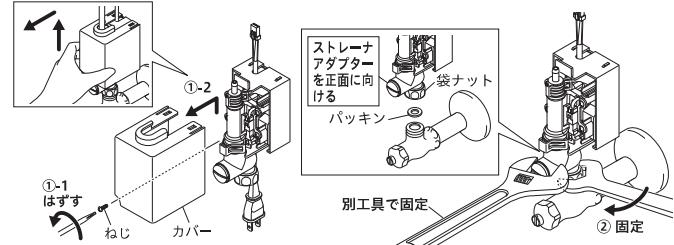
① 電磁弁ユニットのカバー部のねじをはずし、カバーを軽く押し上げながら手前に引くようにはずします。

② ストレーナアダプターが正面にくるように袋ナットを止水栓に固定します。

[△注意] 接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。

締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水の原因となります。

[お願い] 袋ナットを締め付ける際は、別工具でストレーナアダプターが動かないよう固定してください。



5 給水ホースの接続

① 給水ホースを電磁弁ユニットのプラグに合うように適切な長さで切断します。

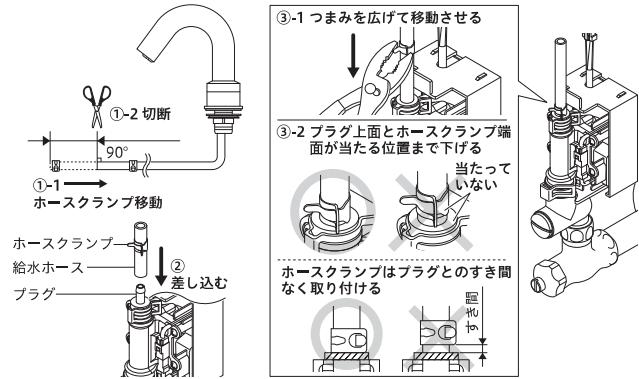
[お願い] 給水ホースを切断する場合は、ホースクランプをなくさないよう移動させてから、水平に切断してください。

② ホースクランプが給水ホースに通してあることを確認し、プラグに差し込みます。

[お願い] 給水ホースが折れ曲がらないようにしてください。

③ 工具でホースクランプをつまみ広げ、プラグ上面に移動させて給水ホースを固定します。

[お願い] ホースクランプはプラグの上面にすき間なく取り付けてください。

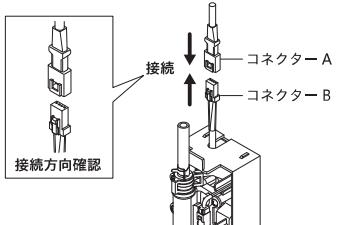


6 ページ

取り付け手順 2

6 コネクターの接続

コネクターAの凹部とコネクターBの凸部を「カチッ」というまで差し込みます。



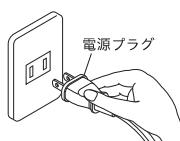
7 電源プラグの差し込み

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

[お願い]

電源が入ると直ちに感知距離を自動で設定します。

センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約10秒でこの動作は完了します。)



8 センサーランプの確認

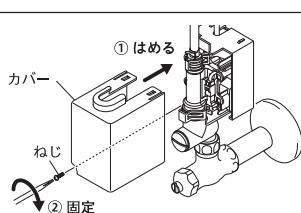
センサー内に手をかざしたり、陶器内に物が置いていない状態で、センサーランプが点滅していないことを確認してください。

もしも点滅していれば、本体の向きを少し変え、点滅しないところで本体の取り付けを再度行ってください。



9 電磁弁ユニットへのカバーの取り付け

カバーをはめ、ねじで固定してください。



7 ページ

取り付け後の点検と清掃 1

通水確認

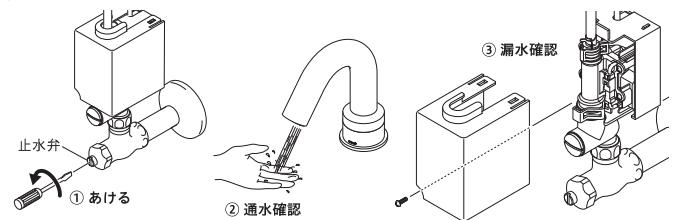
[△注意] 水栓取り付け後、通水して水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部および水栓からの水漏れがないことを確認してください。

確認しないと、漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

① 止水弁を開けます。

② 手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ることを確認します。

③ 接続部から水漏れないことを確認してください。



8 ページ

404323-01

取り付け後の点検と清掃 2

ストレーナ清掃のお願い

ストレーナユニットのストレーナ

ストレーナユニットのストレーナにゴミがつまりますと、吐水量が減る場合がありますので、施工後必ず清掃してください。

【△注意】ストレーナの清掃は、止水弁で必ず止水してから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと水漏れにより家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

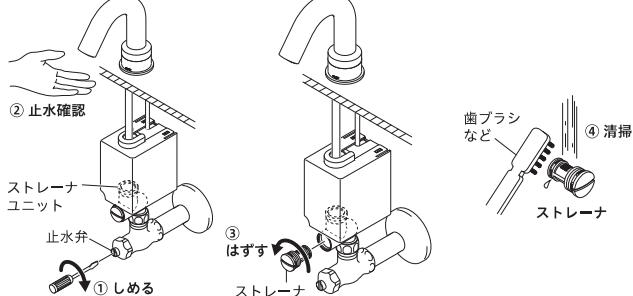
①止水弁をしっかりと締めます。

②手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。

③ストレーナを反時計回りに回し、取りはずします。

④ゴミ・水アカ等を洗い流します。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



吐水口金具のストレーナ

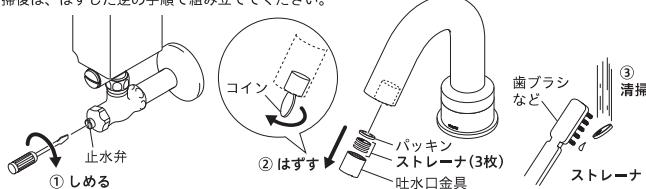
吐水口金具のストレーナにゴミなどがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので施工後、必ず清掃してください。

①止水弁をしっかりと締めます。

②吐水口金具をコイン等を利用して、反時計回りに回してストレーナ(3枚)を取りはずします。

③ゴミ・水アカ等を洗い流します。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



9ページ

流量が不足している場合の調整方法

本製品は、電磁弁ユニット内部に定流量弁を内蔵していますので、基本的に流量調節は不要です。ただし、圧力が低い場合や電気温水器との組み合わせにより流量が不足する場合は、定流量弁をはずして流量調節を行ってください。

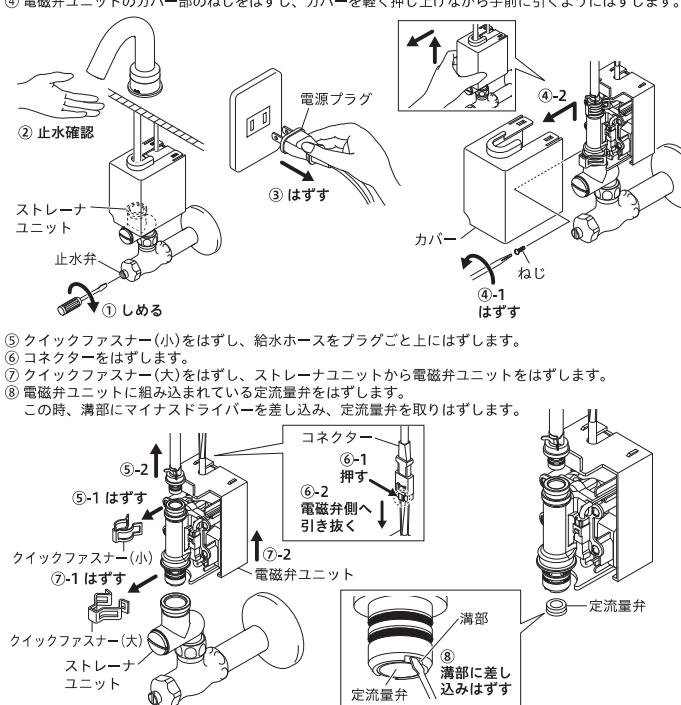
①止水弁をしっかりと締めます。

②手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。

③コンセントを抜きます。

【△注意】濡れた手でコンセントを抜かないでください。感電のおそれがあります。

④電磁弁ユニットのカバー部のねじをはずし、カバーを軽く押し上げながら手前に引くようにはずします。



10ページ

取り付け後の点検と清掃 3

⑨ 電磁弁ユニットとプラグをクイックファスナー(小)で固定します。

電磁弁ユニットとストレーナユニットをクイックファスナー(大)で固定します。

【△注意】クイックファスナーの接続は、以下の内容に注意してください。

しっかりとはまっていると、漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

※すき間がないよう、確実に押し込む

※クイックファスナーの溝につばが全周かかっていること

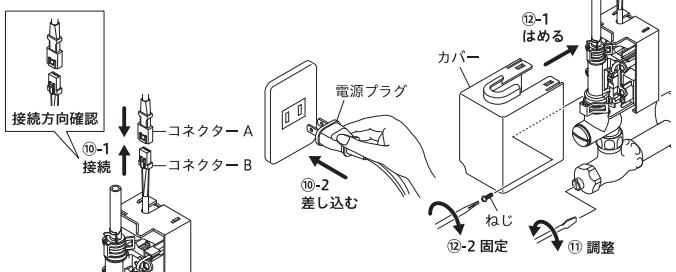
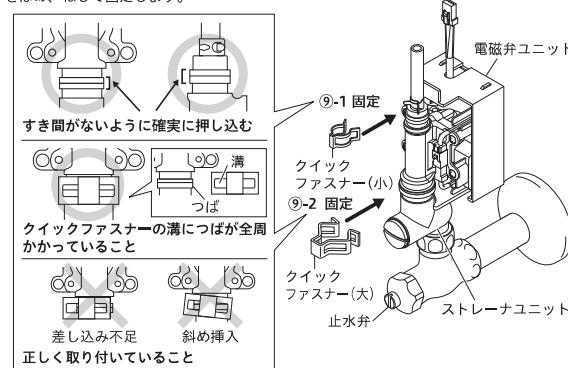
※クイックファスナー取り付け後は、正しく取付いていることを目視や鏡を使い確認する

⑩ コネクターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

【お願い】電源が入ると直ちに感知距離を自動で設定します。センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約10秒でこの動作は完了します。)

⑪ 止水栓で流量を調整します。

⑫ カバーをはめ、ねじで固定します。



11ページ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
水が出ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ 「通水確認」
	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る	取扱説明書6ページ 「お手入れ方法」
	センサーの前に障害物がありますか	障害物を取り除く	取扱説明書5ページ 「自動吐止水方法」
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを差し込む	7ページ 「電源プラグの差し込み」
	コネクターは確実に接続されていますか	コネクターを確実に接続する	7ページ 「コネクターの取り付け」
	停電中または断水中ではありませんか	回復するまで待つ	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	9ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
吐水量が少ない	センサーランプが点滅していませんか	電源プラグを抜いて、再接続する	7ページ 「電源プラグの差し込み」
	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ 「通水確認」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	9ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
	給水ホースは折れ曲がっていますか	折れ曲がらないように調整する	6ページ 「給水ホースの接続」
吐水が飛び散る	吐水量が不足していませんか	定流量弁をはずし、止水弁で流量を調節する	10・11ページ 「流量の調節方法」
	吐水口金具のストレーナにゴミ等がつまっていますか	吐水口金具のストレーナを清掃する	9ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る	取扱説明書6ページ 「お手入れ方法」
水が止まらない	センサーの前に障害物がありますか	障害物を取り除く	取扱説明書5ページ 「自動吐止水方法」
	センサーランプが点滅していませんか	電源プラグを抜いて、再接続する	7ページ 「電源プラグの差し込み」
	万一、上記の箇所を調べてみても水が止まらない場合は、止水栓を閉めてください。		

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

【△注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。

水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

製品の保証期間は1ヶ年です。同梱の保証書をご確認ください。

12ページ